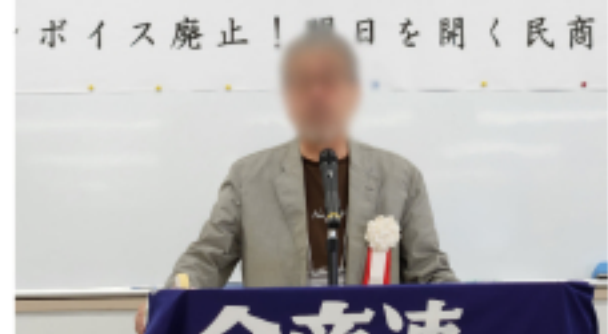


高市大軍拡NO！消費税一律5%減税・インボイス制度廃止

～ 八幡西民主商工会 第47回 定期総会 ～

八幡西民主商工会は、7月12日ポリテクセンター福岡で第47回定期総会を開催し、代議員29人（出席率82%）と評議員1人が参加。今後一年間の方針、決算・予算、新年度の役員を全会一致で確認し新たな一年をスタートさせました。

はじめに、坂井会長より「高市政権は生活苦・ナフサ問題に何も対応していない。消費税減税もどうするのか？」「高市政権NOの声が全国で広がっている。大軍拡ではなく、生活費に税金を使うべきだ。平和憲法が脅かされている。平和でこそ商売繁盛だ。」と憲法9条を読み上げ、会長あいさつとしました。



会長あいさつ 坂井会長

その後、来賓で出席された3人があいさつを行いました。山下福商連副会長からは「会員1%、読者2%拡大を毎月やれば、増勢が見えてくる。これから秋の運動もはじまる。一緒に奮闘していこう。」とあいさつ。黒崎合同法律事務所の平山弁護士からは「初の女性総理ということで高市政権に期待していた人もいたかもしれないが、これまでの自民党政治以上に悪くなっている。大軍拡ではなく、平和憲法を守ることが求められている。」とあいさつ。日本共産党永井市議からは「福岡県議会で議長ポスト就任に多額の金銭授受の疑いが報道されている。事実

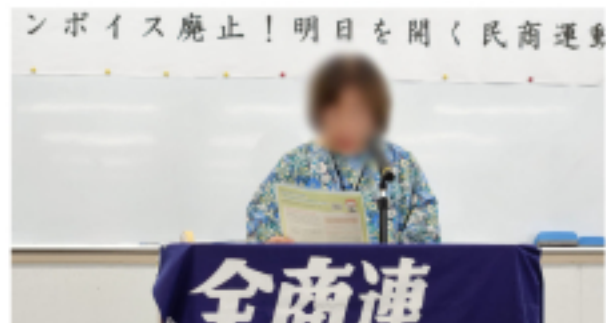
であれば、県民の期待を裏切るもので、共産党としてもしっかりと追及していきたい。所得税法56条や消費税減税・インボイス制度廃止で民商のみなさんと取り組んできた。北九州市は国に意見を届ける姿勢が無い。引き続き民商のみなさんと運動に取り組んで行きたい。」とあいさつされました。

その後、総会方針提案を清水事務局長、決算予算報告を宮崎常任理事が行いました。質疑では「今の高市政権をどうみるか？一つ一つの物事だけにとらわれるのではなく、今の政権が自由や平等を奪う政治を行っている。そういう価値観が今の政治で当たり前に行われている。若い人ほど敏感で、民商も自由や平等を大切にしている価値観をもって運動に取り組むべきだ。」と発言がありました。

休憩を挟み、専門部からの報告が行われ、共済会は野嶋理事長が今度の全商連共済総会での共済制度改善を説明。婦人部は水元部長より全婦協作成の「憲法ノート」を紹介。青年部は担当の中國事務局員より名刺交換会の取り組みや今年行われる、全国業者青年交流会に青年部から代表を送ることを報告。財政部からは宮崎部員より、毎月の部会の取り組みと財政の立場からも拡大を呼びかけました。



専門部発言 共済会 野嶋理事長



専門部発言 婦人部 水元部長

拡大推進委員会は坂井部長から、民商への入会は会員からの紹介が多いこと。民商を知ってもらおうきっかけとして商工新聞の拡大を呼びかけました。

表彰では会員拡大で香月支部が、読者拡大で三ヶ森支部が表彰され、坂井会長より金一封を受け取りました。

役員退任あいさつでは、今年度をもって副会長を退任される松本さんから「民商でいろんな勉強をさせてもらった。商売を始めて47年。民商歴は43年になる。82歳になり、体力的に活動が難しくなり退任させていただくことになりました。ありがとうございました。」とあいさつ。皆さんのあたたかい拍手でこれまでの活動を労いました。最後に閉会挨拶と「団結頑張ろう」を野嶋副会長が行い、全ての議事を終え閉会となりました。

事務局長 清水



表彰 香月支部 清邊さん



表彰 三ヶ森支部 新居さん(右)



退任あいさつ 松本副会長

松本さん、22年間副会長としての民商活動お疲れ様でした



最後に参加者みんなで団結ガンバロー